国内シェアNo.1データ連携ミドルウェア

asteria warp

だれでも、もっと ASTERIA Warp

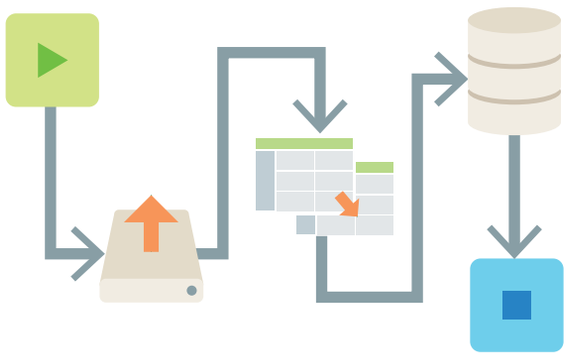
テクノ・システム・リサーチ
「2018年ソフトウェアマーケティング
総覧 EAI/ESB市場編」調べ

asteria warp

だれでも、もっと ASTERIA Warp

ノン・プログラミング技術で戦略的IT活用を推進

ASTERIA Warpは、専門的な技術がなくても利用できる**データ連携の基盤製品**です。企業内の新旧様々なシステムやクラウド上のデータをスムーズに連携し、コストの削減や業務の効率化をサポートします。



国内No.1のシェアを誇る **デファクトスタンダード**

7,000社以上※の導入実績を誇り、様々な企業の業務を支えています。

※2018年9月末時点

テクノ・システム・リサーチ
「2018年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」調べ

複雑な連携をノン・プログラミングで実現する ASTERIA Warp

様々な形式のデータフォーマットやシステム、クラウドに対応したコンポーネントでデータ連携を簡単に実現します。

※一部機能はオプションです。
※一部機能は、ASTERIA Warp Coreではご利用いただけません。

Office / Groupware

- Microsoft Excel
- Microsoft Office 365
- IBM Notes/Domino
- Google スプレッドシート
- POWER EGG
- Microsoft Active Directory
- Microsoft SharePoint
- Google コンタクト
- クリプト便
- kintone
- Google カレンダー
- D3Worker

Accounting

- 請求管理ロボ
- マネーフォワード クラウド経費

BPM / BRMS / Workflow

- BIZ PLATFORM
- EXPLANNER/FL
- intra-mart
- InnoRules

SFA / CRM

- Microsoft Dynamics CRM(365)
- Salesforce
- クライゼル

ERP

- SAP ERP
- NetSuite
- Microsoft Dynamics NAV(365)
- Microsoft Dynamics AX(365)
- IFS Applications
- RobotERP ツバイソ
- ServAir
- スーパーカクテルデュオ

EDI

- JFT/SaaS
- Biware

BI

- Tableau
- Dr.Sum EA

Marketing

- Google Analytics
- Marketo
- uSonar
- Sansan
- Google 広告
- Oracle Eloqua
- Data-Master
- 名刺de商売繁盛

RPA / AI / OCR

- Amazon Rekognition
- BizRobo!

Social

- Facebook
- Twitter
- LINE
- Slack

Cloud storage

- Amazon S3
- Google ドライブ
- Microsoft OneDrive
- Box

Network

- SOAP
- HTTP/HTTPS
- POP3/POP3S
- SMTP/SMTPS
- REST
- FTP/SFTP
- IMAP/IMAPS
- LDAP

File format

- CSV
- XML
- PDF
- ZIP
- GZIP
- TAR
- JSON
- HTML
- MIME (S/MIME)
- 固定長
- テキスト
- バイナリ

Cloud(IaaS)

- アマゾン ウェブ サービス (AWS)

DWH / BIG DATA

- Amazon Redshift
- IBM PureData

Database

- Oracle
- IBM Db2
- FileMaker
- Microsoft SQL Server
- Microsoft Access
- MySQL
- MariaDB
- PostgreSQL
- Amazon RDS
- Amazon DynamoDB
- Amazon Athena
- MongoDB

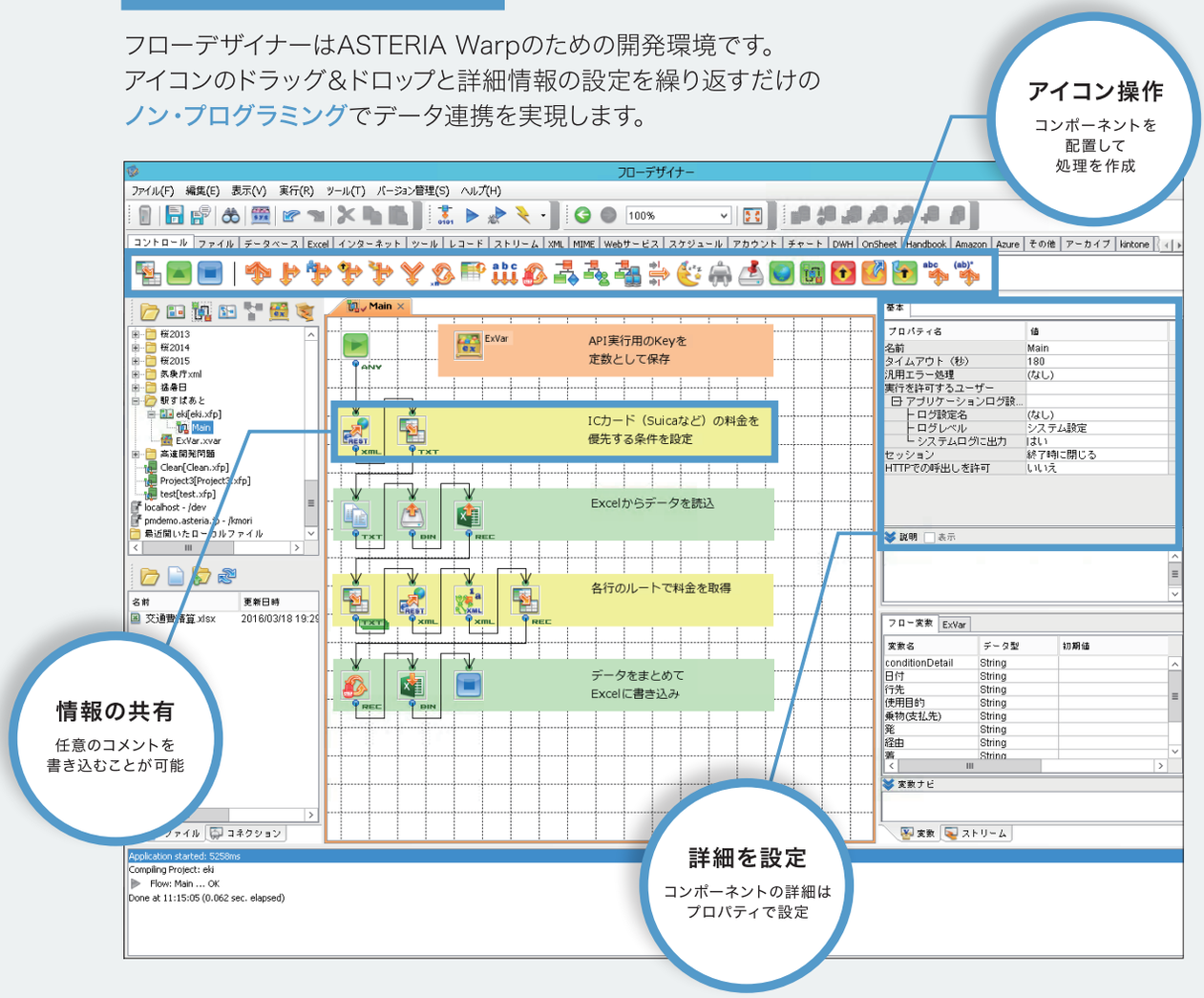
asteria warp

asteria warp CORE

ASTERIA Warpを構成する開発環境とコンポーネント

フローデザイナー

フローデザイナーはASTERIA Warpのための開発環境です。
アイコンのドラッグ&ドロップと詳細情報の設定を繰り返すだけの
ノン・プログラミングでデータ連携を実現します。



起動方法とトリガー

作成したフローは様々な方法で起動することが可能です。用途に合わせてバッチ、リアルタイムでお使いいただけます。

URLトリガー

URLを割りつけ、ブラウザーや他システムからリアルタイム実行。

FTPトリガー

ASTERIA WarpにFTPでファイルをアップロードすることで起動。

メール監視

メールサーバーを定期監視し、メール受信のタイミングで実行。

スケジューラー

定められた日時に実行。独自に休日を定義することも可能。

SOAP

任意のSOAPクライアントからリクエストを受け付けて実行。

メッセージキュー監視

JMSQueueシステム上の指定したメッセージキューを監視。

コマンドライン

外部コマンドより実行。JP1やSystem Walkerからの実行。

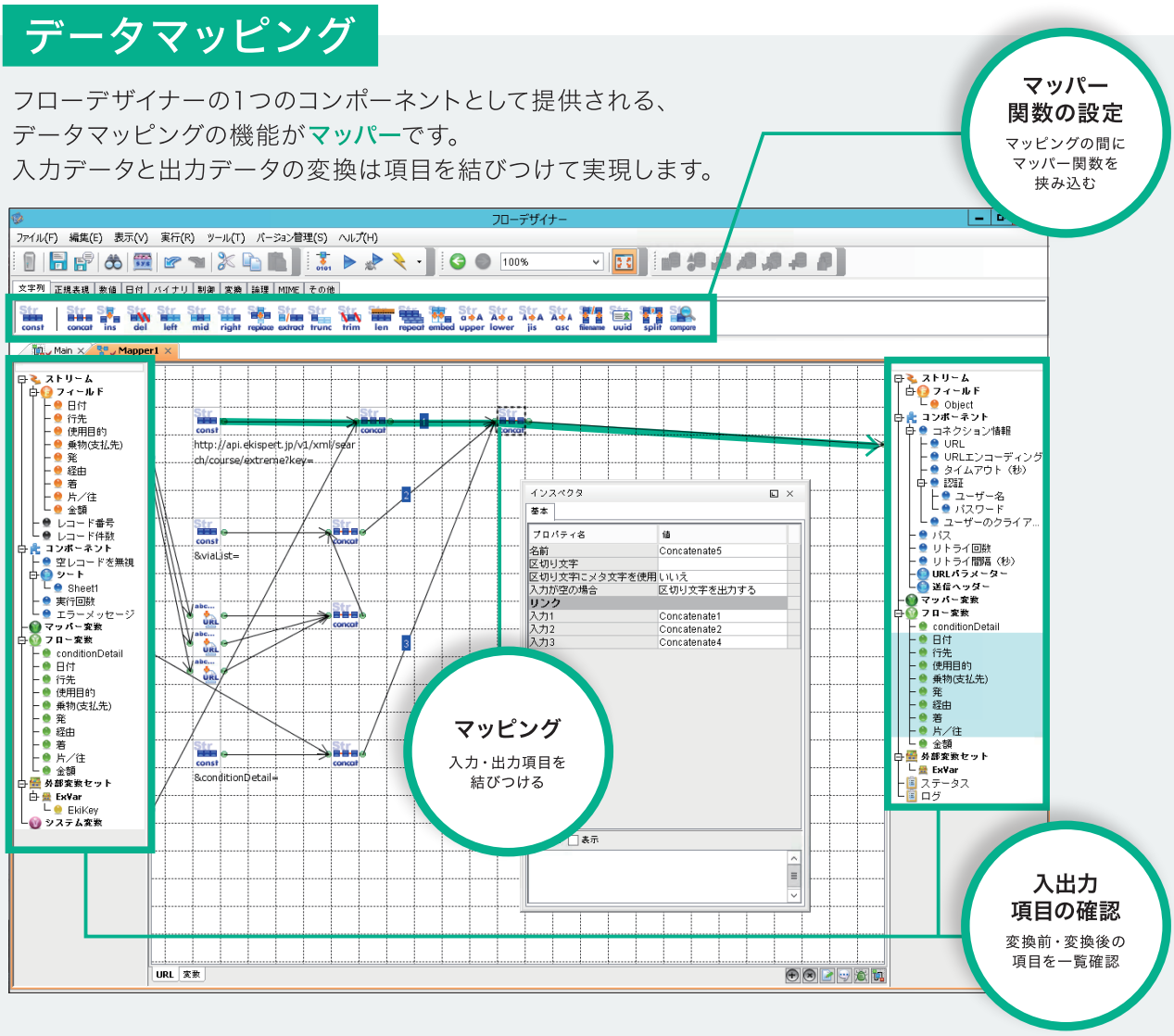
Java API

独自開発したJavaアプリケーションからAPIを介して実行。

※一部機能は、ASTERIA Warp Coreではご利用いただけません。

データマッピング

フローデザイナーの1つのコンポーネントとして提供される、
データマッピングの機能が**マッパー**です。
入力データと出力データの変換は項目を結びつけて実現します。



開発を支える様々な機能

※一部機能は、ASTERIA Warp Coreではご利用いただけません。

SQLビルダー

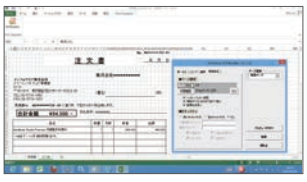
DB連携ではSQLの自動作成と
実際のDBへの接続を確認。

Excelビルダー

Excel連携では連携箇所の設定
の他、スタイル設定にも対応。

PDFビルダー

Excelのテンプレートにデータ
を埋め込みPDFを自動作成。

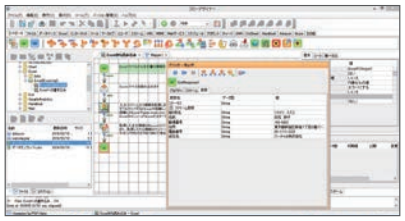


フローテンプレート

よくある連携処理をテンプレート
として利用し、開発工数を削減。

デバッガー

連携データの途中経過を確認して内容の
検証、不具合の調査を行います。

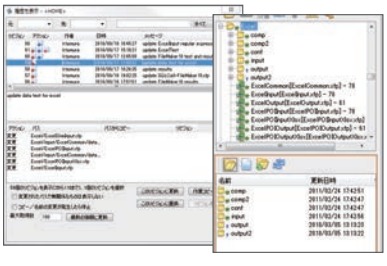


仕様書・テーブル定義自動作成

作成したフローからボタン一つで仕様書を
出力しますので、情報共有が簡単です。

バージョン管理

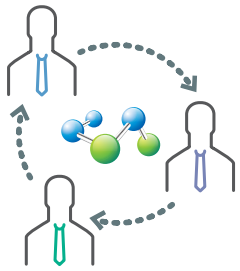
Subversionでの管理によって、プロジェクト共
有や変更履歴管理などチーム開発を支援。



ASTERIA Warpの特長

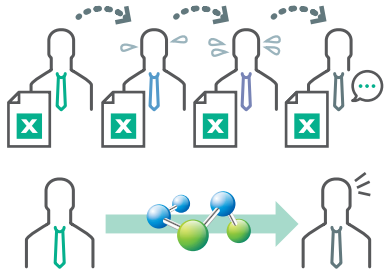
1. ノン・プログラミングで構築期間を短縮！

アイコンのドラッグ&ドロップで簡単に操作。すぐに動くものを作って確認するアジャイル開発にも最適。



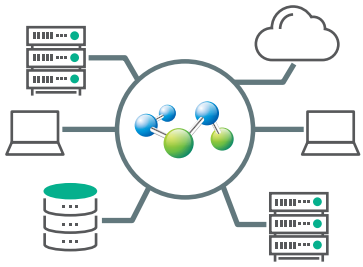
2. 自動化で日々の業務を効率化！

様々な日々の業務を自動化することで作業コストの削減や人為的なミスの低減にも貢献。



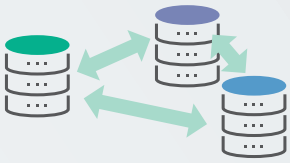
3. 豊富なアダプターで将来性も万全！

現場から発生する要望に対しては、豊富に用意されるアダプターで柔軟に対応。連携先の増加も安心。



標準機能

各種データベース連携



社内データの再利用、一部データの同期などデータの利活用を促進。

APIを使ってクラウド連携

様々なクラウドで提供されているAPIと、データ形式に標準で対応。

Webからの情報取得・活用

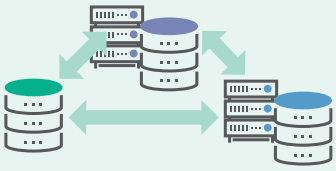
APIを持っていないWebサイトからも、データを取得し、活用。

アダプターでできること

Excel大量処理の自動化

Excelからデータベースへの投入や、複数のデータベースからの帳票作成など、業務の自動化を促進。

各種パッケージ連携



二重登録の軽減、既存システムのデータを再活用など、社内システムを効率化。

クラウド最新技術との連携

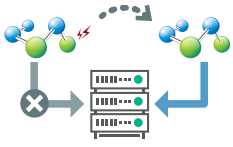
クラウドで提供される最新技術と連携し、自社のシステムの一部として利用。

大規模なデータ連携基盤として企業を支える

エンタープライズエディションとして、以下の機能をご用意。大規模システム構築の際にも安心してお使いいただけます。

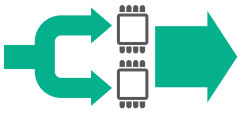
障害および復旧時の対応機能

障害で中断した場合、処理の途中から再実行して復旧時間を短縮。



複数台構成の場合は障害時に自動的に切り替える機能を実装。

大容量データを効率的に処理



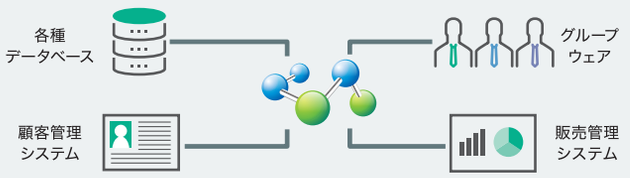
繰り返し処理にはマルチコア環境を最大限に引き出す高速処理を実現。

他の処理に割り込んで実行する優先処理で柔軟に対応します。

ASTERIA Warpの活用場面

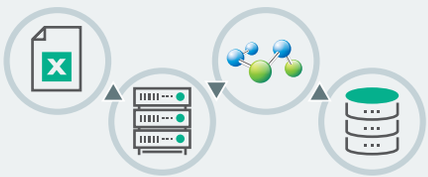
7,000社以上で利用されているASTERIA Warpは業種や規模、用途を問わず様々なシーンで活用できます。

大規模なシステム連携



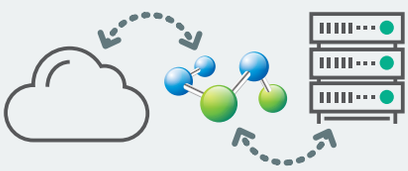
社内に散在する各種システムをASTERIA Warpで疎結合し連携を実現します。多重入力を排除し、業務効率を向上させます。

業務の自動化



手作業を自動化することで、作業ミスを排除し、コスト削減。入力帳票としてのExcelとの連携も簡単です。

ハイブリッドクラウドでシステム運用



クラウドの利用は増えますが、社内システムが無くなるわけではありません。社内システムと共存させどちらのメリットも享受します。

開発の高速化・内製化

社内システムをGUI操作で構築。小規模な仕様変更や機能拡張を社内のみで対応でき、業務の即時対応が可能になります。

製品構成と仕様	ASTERIA Warp Core	ASTERIA Warp Core +	ASTERIA Warp Standard Edition	ASTERIA Warp Enterprise Edition
製品形態	サブスクリプションライセンス	サブスクリプションライセンス	サブスクリプションライセンス 通常ライセンス	サブスクリプションライセンス 通常ライセンス
フローデザイナー	無制限	無制限	5クライアント （サブスクリプションは無制限）	10クライアント （サブスクリプションは無制限）
ファイル連携	○	○	○	○
データ変換	○	○	○	○
REST 連携	○	○	○	○
データベース連携		○	○	○
メール受信・送信		○	○	○
仕様書出力			○	○
サブフロー処理			○	○
チェックポイント				○
優先実行				○
簡易フェールオーバー				○
価格	30,000円～/月	60,000円～/月	別途お問い合わせください	別途お問い合わせください

無料評価版ご提供

じっくり使ってみたい方は30日間のダウンロード版で自社環境でお試しできます。機能を少し試してみたい方にはチュートリアルの付いたクラウド版も！

30日間 ダウンロード版

3日間から クラウド版

詳しくは ASTERIA Warp 評価版 検索

無料体験セミナー定期開催

ASTERIA Warpの無料体験セミナーを全国で開催しております。簡単な使い方から、データベースとの連携まで実際に体験していただけます。

アステリア株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井1-47-1 NTビル10F

0120-279-140 受付時間：9:00～17:30（土日祝日および年末年始を除く）

https://www.asteria.com/

このカタログに記載された情報は2019年1月現在のものです。内容は予告なしに変更することがあります。Asteriaはアステリア株式会社の登録商標です。その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

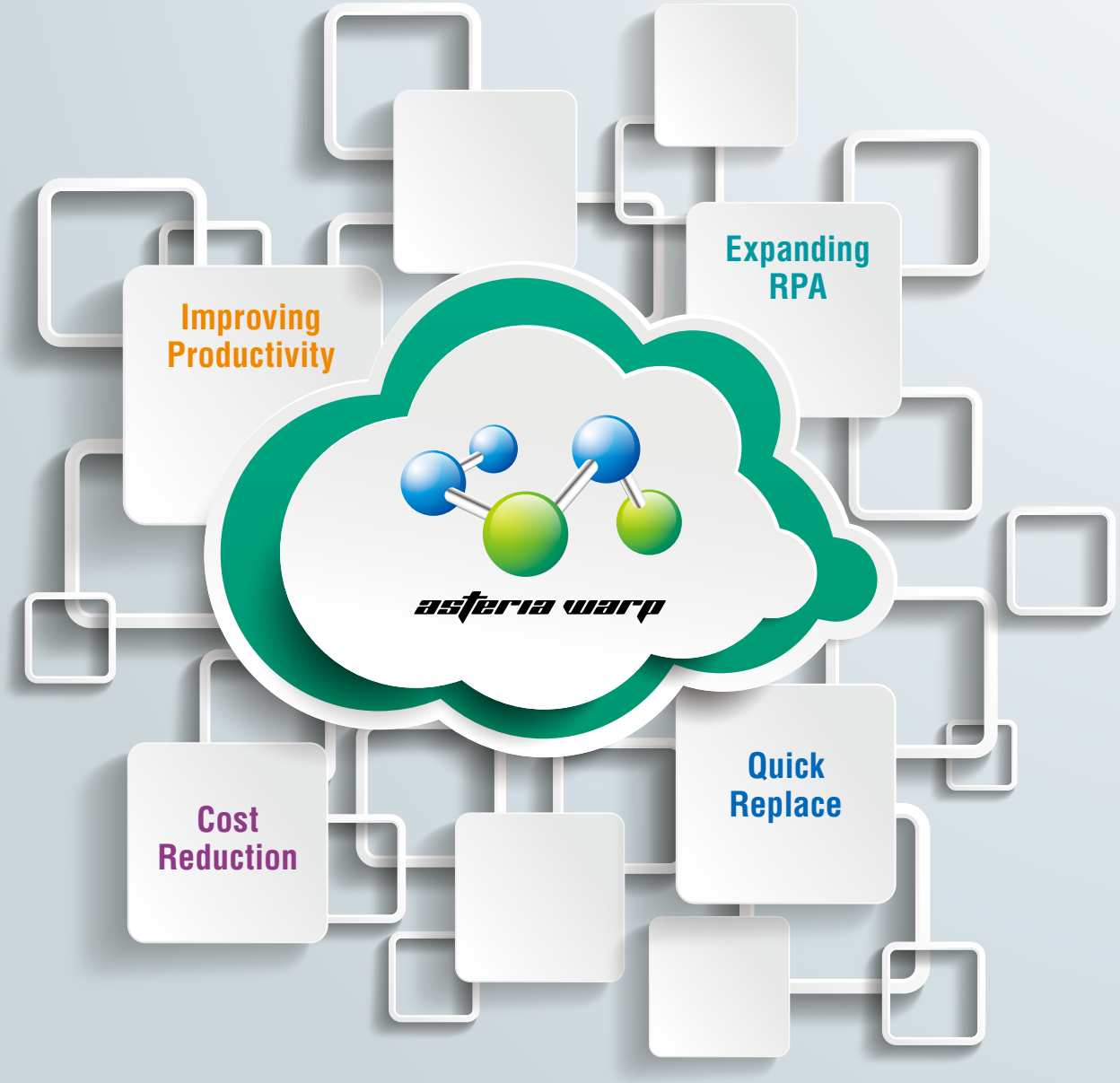
©2019 Asteria Corporation

お問合わせ先：

J16-00000D-04-08

asteria warp

ASTERIA Warp導入事例集



連携先	WinActor	利用シーン	業務自動化	業種	情報通信業

WinActorとASTERIA WARPを連動

フロントからバックエンドまでの業務を完全自動化しRPAを実現!

株式会社フォーバルテレコム

東京都千代田区神田錦町三丁目26番地一ツ橋SIビル2F
URL:http://www.forvaltel.co.jp/
従業員数　連結 276名(2017年3月末現在)

導入背景

株式会社フォーバルテレコムは、IP電話サービス「AmaVo」「iSmartひかり」をはじめとする各種ソリューションサービスを展開する成長企業。同社は手作業では処理しきれないBtoCビジネスの受注業務、決済業務を5年前よりASTERIA WARPで自動化していた。しかし、その後のビジネスの伸長により、これまではシステム化するほどでもないと考えていた雑多な手作業の分量が膨らみ、最近では情報システム部内運用担当者の月末月初の残業過多が常態化するようになっていた。

課題

- 代理店からの情報が届いた際に実行するフローなど、情報システム部門内で手動実行しているASTERIAフローが約60本ある。手動実行のため誤実行のリスクあり。
- ASTERIAフローの実行は情報システム部でしか行えないため、本来業務部門で行うべきフロー実行のための下処理(ファイルセットなど)も情報システム部門で実施。
- 取引先増大により、月末月初の手作業が増大し、残業過多が常態化。

導入

- RPAによる業務自動化を決断。複数社のRPAツールを比較・検討した結果、最もシンプルなUIを持つWinActorを採用。
- 各業務ごとのASTERIAフロー実行ボタンを社内Webページ上に作成。WinActorでシナリオを組み、フロー実行に必要なファイルセットなどの下準備を行なった後、Webページ上のASTERIAフロー実行ボタンを押下するまでをWinActorで自動化。

効果

- フロント業務をWinActor、バックエンド業務をASTERIAで自動化。さらにこれを連動させることで業務の完全自動化を実現。
- 人手を介さずASTERIAフローを実行することによりに誤実行を防止。
- 情報システム部でしかできなかったASTERIAフローの実行を業務部主体で適時実行可能に。
- 運用担当者の月末月初の業務負荷を大幅に削減。

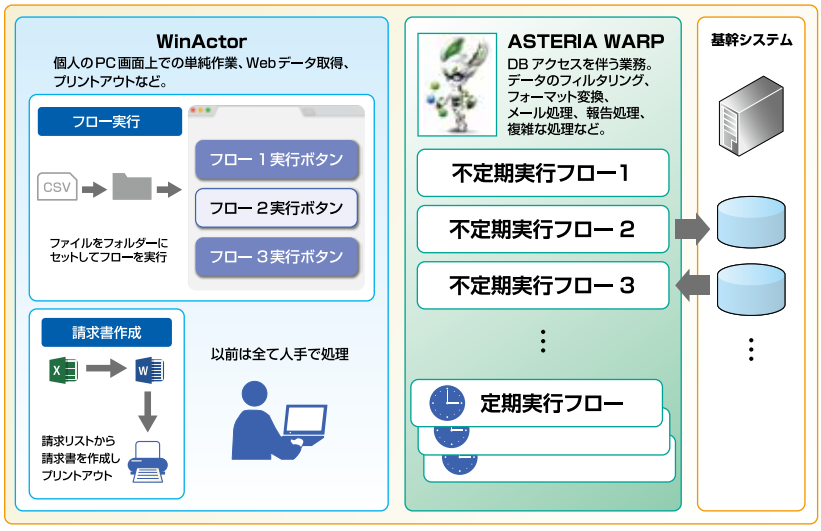
今後の予定

- WinActorで各種Webサイトから取得したデータをASTERIAで切り分けて代理店にレポート送信していきたい。
- お客様の基幹システムまでASTERIAで連携する自動化代行サービスをリリース。

ASTERIA WARPとWinActorの切り分け指針

- ASTERIA:DBアクセスを伴う業務。データのフィルタリング、フォーマット変換、メール処理、報告処理、複雑な処理など。
- WinActor:個人のPC画面上での単純作業、Webデータ取得、プリントアウトなど。
- どちらででも実装可能な業務については業務手順が確定しており、かつデータ件数が一定数以上(1,000件を越える場合はWinActorでは処理時間が長時間となり運用が厳しい)の場合にはASTERIAで実装するのが望ましい。

利用イメージ



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

経営管理本部
システム開発部 部長
内海 義朗 様

ASTERIAはプログラミングをより簡単に行えるようUIをラッピングしていますが、RPAツールはASTERIAをさらに事務レベルのUIでラップしたようなものと言えます。UIをかぶせることでその分できることの制約も出ますので、より高度な処理を行いたい場合には、RPAツール→ASTERIA→プログラムの方向で呼び出して使っていくと良いのではないかと考えています。

(注)WinActorはNTTアドバンステクノロジ社が開発しているRPAツールです。

連携先	kintone/会計システム	利用シーン	内製化/マスタ連携/クラウドサービス連携	業種	サービス業

70以上の子会社とのデータ連携自動化によりマスタ更新・各種集計業務を大幅に効率化

株式会社サイバーエージェント

東京都渋谷区道玄坂1-12-1
URL：https://www.cyberagent.co.jp
従業員数　単体正社員1,671名（2015年9月末時点）

導入背景

「Ameba」ブランドのブログ・SNSで広く知られる株式会社サイバーエージェント。同社の経営でユニークな点の1つが、新規事業の子会社化である。現在提供している各サービスも、社内の事業部ではなく、それぞれ専門の子会社が運営。ビジネスの権限と独立性を持たせることで、スピーディなサービス立ち上げが図れる体制としている。

課題

- 取引先や取扱品目、社員の所属情報など、本社と子会社のマスタ情報がシステム上で同期していないため、子会社設立時には毎回、本社・経営システム室の担当者に、手作業で子会社のマスタに入力し直す作業が発生。
- 子会社から送られてきた受注・請求データも、経理担当者が形式を整えて集計したのち、会計システムに入力。

導入

- 本社・子会社間のマスター連携の実現。ASTERIA WARPで本社のマスタから必要なデータを抽出。それをkintoneで開発した子会社の各業務システムにアップロード。
- 子会社情報の各種集計業務でも活用。

効果

- スクラッチ開発であれば数時間はかかる作業がわずか3分程度で完了。
- 取引先／科目／部門マスタなどが人手を介さず子会社のマスターと同期。
- 定型業務を自動化することでミスを低減。

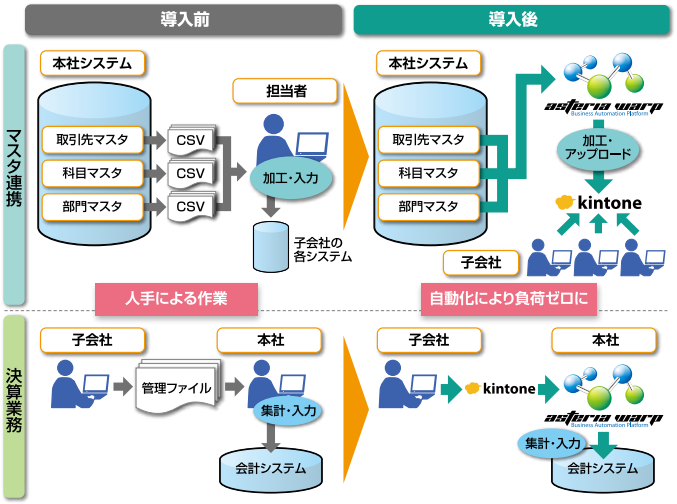
ASTERIA WARP選定理由

- 国内ベンダーであること
- Excel連携しやすいこと
- 直感的なユーザーインターフェース

今後の予定

- 子会社決算関連データを自動取得、集計して会計システムに登録する作業の自動化。
- バックエンドを完全自動化し、ワンクリックで業務が完結できる仕組みの実現。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

経営本部
中澤 洋雄 様

内製での導入は、苦戦する部分も多いと予想していましたが、実際は非常に簡単。パートナー企業のSCSKへのサポート問合せも数回で済みました。

連携先	メール/CSV	利用シーン	BPR/業務自動化	業種	卸・小売業

Benefit one

ASTERIA WARPで業務自動化を実現 BPR支援ツールとして活用し、運用工数を大幅に削減

株式会社ベネフィット・ワン

東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー35階
URL：http://www.benefit-one.co.jp/
従業員数　単体805名、連結1,035名（2016年9月末現在）

導入背景

福利厚生のアウトソーシングを軸としたビジネスを展開する株式会社ベネフィット・ワン。「ベネフィット・ステーション」が順調に会員企業を増やし拡充する中、トレンドにあわせた商材をタイムリーに提供しサービスを拡充していくためには、新規サプライヤーの迅速なサービスインが重要となる。しかしすぐには相手先との連携システムの開発はできない。システムがビジネス成長の足かせになるわけにはいかないため同社は最適な方法を検討し始めた。

課題

- 新規サプライヤーとの連携に手作業が介在
  新規サプライヤーの迅速なサービスインが重要となるが、すぐには相手先との連携システムの開発はできず、結果手作業が増大。
- システム改修に手間
  既存システムは開発時期によって使用する言語がまちまちで一元管理ができておらず改修に手間がかかった。

導入

- 新規サプライヤー連携処理を短期開発。
- アフィリエイト実績管理自動化
  各社が実績をフォルダーに格納するとフローが自動起動、フォーマットを変換してDBに登録。
- 宿泊予約情報の確認自動化
  提携宿泊施設から予約情報メールを受信すると、社内登録予約情報との突き合わせ処理フローが自動実行。

効果

- 従来のJavaによる開発と比較し、開発工期が50~75%短縮。
- アフィリエイト実績の取り込み作業が自動化され、月に約200時間の運用コストを削減。
- 宿泊予約情報の確認の自動化により、予約情報の誤りによるトラブルを抑止。

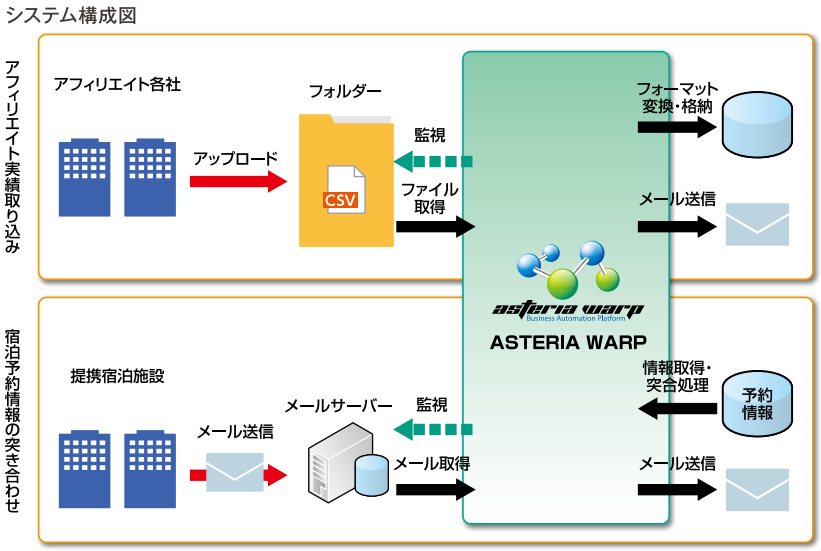
ASTERIA WARP選定理由

- 同時に比較した国内ベンダー製品よりもコストパフォーマンスに優れていると判断した。
- 国内ベンダー製品のためサポート面で安心できた。

今後の予定

システム開発部内、各ユーザー部門にASTERIAを扱える人材を増やしていきたい。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

システム開発部 開発チーム長
佐藤 慶 様

迅速なシステム間連携の開発や、変更要望にも柔軟に対応できる手段を得たことは非常に心強いですね。
一層のASTERIA WARPによる活用効果を期待しています。

連携先	利用シーン	業種
人事マスター/文書管理システム	ID連携/業務自動化	製薬業

田辺三菱製薬

ID連携により文書アクセス権を自動更新 組織変更に伴う手作業をなくし 利便性やセキュリティの向上へ

田辺三菱製薬株式会社

大阪府大阪市中央区道修町3-2-10
URL：http://www.mt-pharma.co.jp/
従業員数　8,125人（2016年12月時点）

導入背景

医療用医薬品を中心に医薬品の製造・販売を営む日本屈指の製薬メーカー田辺三菱製薬株式会社。かつて、契約書や稟議書、手順書など社内完成文書を登録する文書管理システムが部門主導で構築、運用されており、社内に複数の文書管理システムが存在、約6,000人に及ぶ国内従業員の人事異動ではそれに伴う個々の文書アクセス権変更に煩雑な手間を要していた。

課題

- 部門主導の複数文書管理システム
  文書管理システムを部門主導で構築、運用。社内に複数の文書管理システムが存在。
- 人事異動に伴うアクセス権変更の手間
  約6,000人に及ぶ国内従業員の人事異動に伴い複数文書管理システムのアクセス権を手作業で変更。

導入

- 統合文書管理システムを構築
  ICTマネジメント部主導で市販の文書管理パッケージソフトウェアを採用し、全社統合文書管理システムを構築。
- 人事マスターとID連携
  人事マスターと新統合文書管理システムをID連携し、深夜に組織情報や社員情報が更新される仕組みを構築。

効果

- 人事異動の際に手作業で行っていた文書アクセス権の変更作業が不要に。
- 異動直後でも新組織の文書閲覧が可能に。
- 退職者のID削除が即時実施され、セキュリティ対策面も強化。
- 取り込まれた上長情報でワークフロー処理も実現。

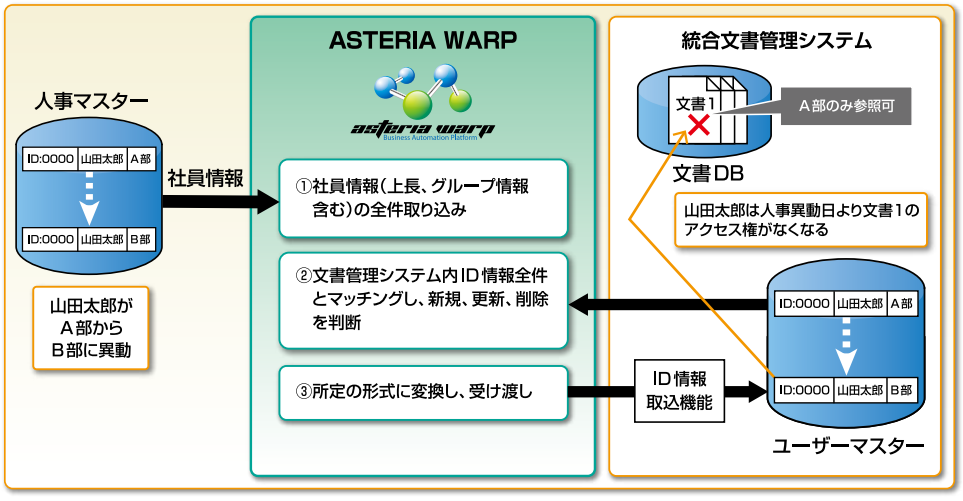
ASTERIA WARP選定理由

ASTERIA WARPは使い勝手が良く、ID連携の仕組みを容易に構築できると考えた。

今後の予定

統合文書管理システムの海外拠点への展開に伴う海外の個別事情に配慮した新たな情報統合。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

ICTマネジメント部 ICT基盤グループ
吉信 ゆうこ 様

新しい部署に異動した社員は、翌日の出勤時からすぐに必要な文書を閲覧することができ、従来のように異動後しばらく新部署のファイルにアクセスできないという業務の遅滞はなくなりました。また以前所属していた部署でのアクセス権限に基づく文書は即時閲覧できなくなるため、セキュリティポリシーも徹底されるようになりました。

連携先	Oracle Exadata	利用シーン	メインフレームリプレース/基幹システム連携	業種	製造業

今日を愛する。
LION

基幹系、情報系システム、統合DB間を連携 全社の共通連携基盤に ASTERIA WARPを採用

ライオン株式会社

東京都墨田区本所1-3-7
URL：http://www.lion.co.jp/
従業員数　単独2,467名、連結6,816名（2015年12月31日現在）

導入背景

私たちの生活を支える歯磨き、歯ブラシ、洗剤、薬品などを提供するライオン。長年に渡りメインフレームを中心に、その時点で最適な技術を採用してオープン系サーバーを構築してきたため、中核部分の老朽化、システム全体の複雑化が進んでいた。また、定年を迎える技術者も増え、システム構築の経緯を知る社員が年々減っていることから、技術の継承も問題となっていた。

課題

- システム間の連携を図るために、市販のファイル転送・データ連携ソフトを活用していたため、接続の組み合わせが膨大になり、どのサーバーでどういう変換処理をしているか把握困難。

導入

- ITシステムの全面刷新を決定。加えて、各システムをつなぐ共通連携基盤をASTERIA WARPで整備。
- 現時点でASTERIA WARPで、約250本（ファイル）の連携処理を実現。
- 社内の各システムで利用する品目コード、事業部コードなどを一元管理するコードデータメンテナンス管理にも利用。

効果

- 最終的には、従来に比べて30％の開発効率向上の見込み。
- 160万件の固定長販売実績データを60秒でCSVに変換。
- コードデータ不整合が発生するリスクを抑止。

ASTERIA WARP選定理由

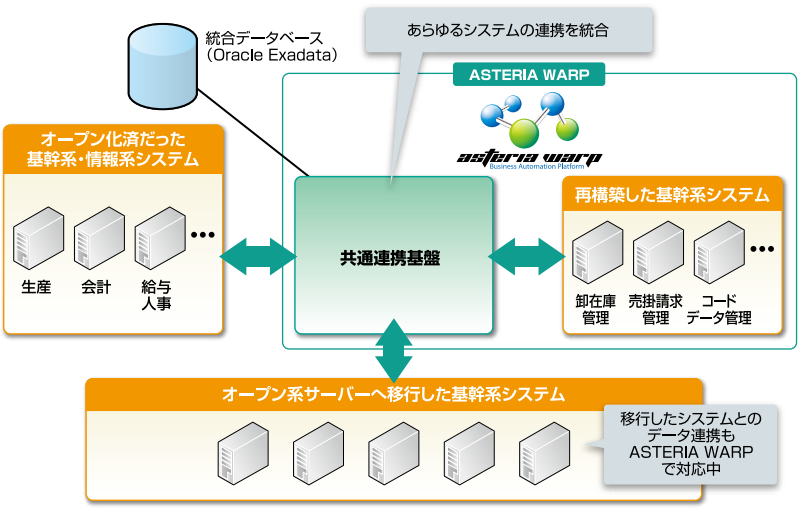
以下の要件を満たし、且つ性能、セキュリティ、可用性面の条件もクリア。

- 連携機能をハブのように集約できること
- 連携の簡素化と標準化が図れること
- ファイル連携（バッチ連携）とメッセージ連携（リアルタイム連携）の両方に対応できること
- 送受信状態の監視機能や障害管理機能を実装していること

今後の予定

最終的にASTERIA WARPで1,200本強のデータ変換を担う予定。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

統合システム部
濟田 信 様

性能や信頼性の面での問題はありません。データ変換処理の開発工数をいかに削減できるかも重視していましたが、ある固定長データをCSVに変換する連携処理の開発では、テストを含めて0.5人日弱で実装できました。GUIを活かしたグラフィカルな開発環境は技術の習得も容易で、メインフレーム時代にあった 技術継承問題も払拭してくれそうです。最終的には、従来に比べて30％の開発効率向上を見込んでいます。

連携先	SuperStream	利用シーン	IFRS対応/ 会計システム連携	業種	農業・林業

住友林業

IFRS対応を実現するシステム連携基盤 “ASTERIA WARP”

住友林業株式会社
東京都千代田区大手町一丁目3番2号 経団連会館
URL：http://sfc.jp/

導入背景

高品質な木造戸建住宅を提供する住宅メーカーとして知られる住友林業株式会社。同社は国際会計財務報告基準（以下、IFRS）に対応するため、会計システムのリプレースを実施した。

課題

- 会計システムと連携している社内システムは全部で約10種類あり、毎月100万件近いデータが処理されるため、会計システムと周辺システムとのデータ連携を集約し、一元的に管理できる仕組みを構築したい。

導入

- ASTERIA WARPは既存の周辺システムとの連携のほか、会計に関連する個別機能群との連携にも活用。
- ベースとなるASTERIAフローのテンプレートを作成し、類似インターフェースを効率よく開発。

効果

- 新会計システムSuperStreamとの連携の仕組みを統一するという当初の目的を達成。
- 開発期間が短縮し、これまでよりスムーズ、かつスピーディに更新、拡張できるシステムへと進化。

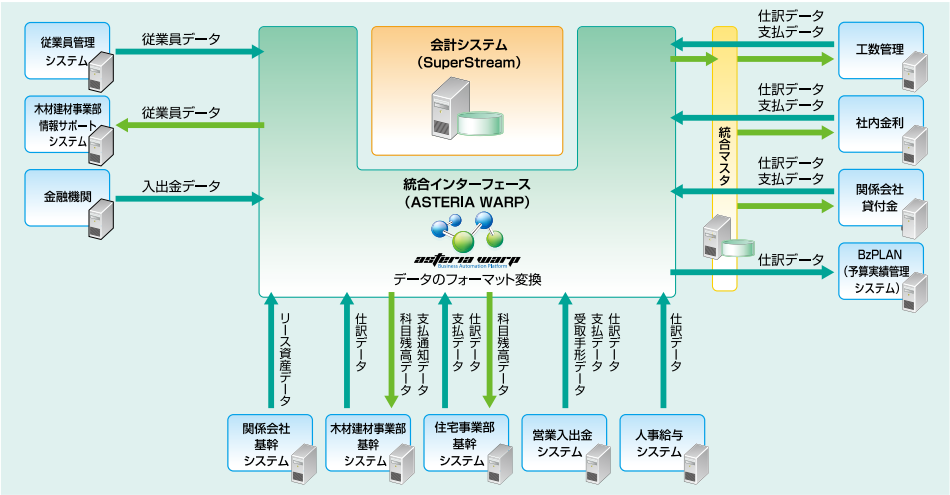
ASTERIA WARP選定理由

直感的に理解できるアイコンを使って視覚的に開発できるので、コーディングに伴う記述ミスとも無縁で、必要な機能を簡単に作れると確信。

今後の予定

自動化できる定型処理などより広範囲に有効活用していきたい。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

情報システム部
企画グループ マネージャー
三浦 晃嗣 様

ASTERIAの特性を生かした開発手法を採用し、開発期間を短縮できました。また、これまでよりスムーズ、かつスピーディに更新、拡張できるシステムへと進化しました。

連携先	SAP/SAP HANA	利用シーン	データ連携/データ抽出	業種	製造業

SAP新基幹システムと業界特有の業務フローを機能マッチング

SAP HANAとの連携も視野に

ナブコドア株式会社

大阪市西区西本町1-12-22
URL：https://www.nabco-door.co.jp/
従業員数 393名（2017年4月1日現在）

導入背景

「NABCO」ブランドで自動ドアの販売、施工およびアフターサービスを手がけるナブコドア株式会社。同社は、所属するナブテスコグループ他社との業務標準化を目的として基幹システムをSAPベースに刷新した。しかし同社が主に携わる国内建築業界のビジネスは、実行予算管理や原価管理など業界独特の商慣習があり、ベストプラクティスとされるSAPの業務フローをそのまま当てはめられないケースも多く課題となっていた。また社内DBからのデータの抽出、活用についても課題を抱えていた。

課題

- 業界独特の商慣習が多い中、ベストプラクティスとされるSAPの業務フローをそのまま当てはめられないケースも多く業界特有の業務フローと新基幹システムの機能のマッチングが課題に。
- 顧客データや売上データなどの抽出要望があると都度抽出プログラムを書いていたため、そのプログラムを扱える担当者が限られるほか、効率性も課題に。

導入

- フロントエンドのワークフロー、ウェブ発注、コールセンターなどのサブシステムをASTERIA WARP を介してSAPと連携し、現場業務の利便性を確保。
- データ抽出については必要なデータをCSV形式で出力できるフローを適宜ASTERIA WARP上に構築して運用。

効果

- ASTERIAを介し疎結合の状態にしたことで、連携先の追加・変更時も、システムを改修することなく迅速に対応可能に。
- 月間約20件のデータ抽出依頼に対応。現場は欲しい時に欲しいデータを必要な形式で入手できるようになり、営業戦略立案などに役立てている。

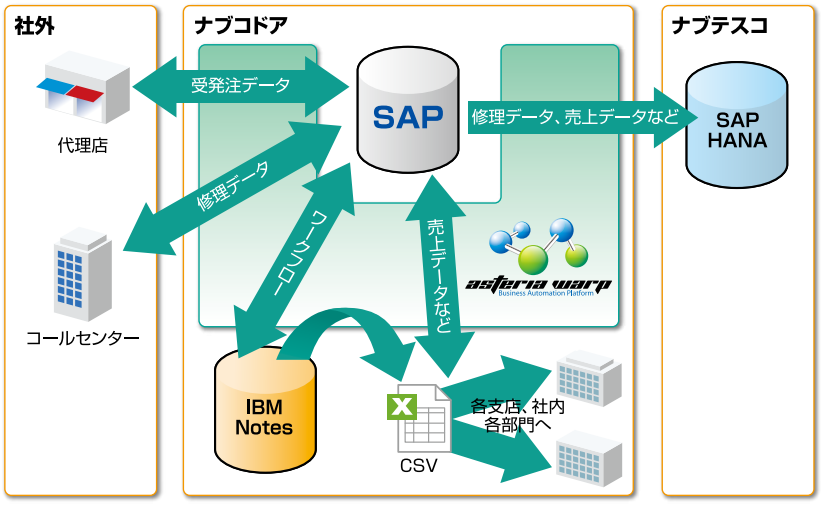
ASTERIA WARP選定理由

- フローデザイナーなどを実際に使ってみる中で、その簡単さ・分かりやすさを実感し、これならより簡単にシステム間連携が実現できると判断。
- 要求に応じたデータをシステムから抽出するツールとして、ビッグデータ活用にも応用できる。

今後の予定

- ナブテスコが所有する超高速データベース「SAP HANA」や、製品を共同開発する協力会社のシステムとの連携により、修理データを新製品開発に生かすことも視野に入れている。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

管理本部
情報システム部長
井上 浩三 様

例えば「この地域の昨年同時期の売上が知りたい」といったリクエストに対しても 、ASTERIA WARPなら視覚的に分かりやすい操作ですぐにデータを取り出せる。この使い勝手は非常に重宝しています 。
システムの柔軟な連携を支えるツール 、そして当社が持つデータを最大限に生かすためのツールとして、ASTERIA WARPには引き続き期待しています。

連携先	SAP/メインフレーム	利用シーン	MDM	業種	製造業

三協立山株式会社

企業統合・再編に伴う課題解決のため既存システムを活かしたマスターデータ管理（MDM）を実現

三協立山株式会社

富山県高岡市早川70番地
URL：http://www.st-grp.co.jp/
従業員数　5,557名（2016年11月30日現在）

導入背景

三協アルミで広く知られる三協立山株式会社は、三協アルミと立山アルミが合併して誕生した建材メーカー。各社の事業の強みを活かし「環境技術でひらく、豊かな暮らし」を実現する企業グループとして、日々事業を営んでいる。しかし、合併した各社がそれぞれ異なるメーカーのメインフレームや多数の業務システムを保持していたため、統合、再編が進むにつれ、システム間の個別連携が入り組み、システムメンテナンスコストが増大していった。また、個々の業務システム毎にデータを保持していたため、集計、分析作業の際には、複数システムからデータを収集しなければならず手間がかかった。

課題

- 実績データが散在。分析作業の際には、複数システムからデータ収集後、Excel、Accessなどで再加工しなければならならず、利用者の利便性が低下。
- 多数の業務システムを個別連携。接続先設定などの接続コスト・メンテナンスコストが増大。
- 連携をスクラッチ開発していたため、メンテナンスや管理面で問題が生じていた。

導入

- 統合マスターを構築
  各業務システムに分散していたデータを一元化、標準化しASTERIA経由でアクセス。
- ID連携
  新入社員情報を統合DBに登録すると全業務システムのIDが自動登録され、シングルサインオンのIDが生成される仕組みを構築。
- データ分析基盤を構築
  統合DBからデータを抽出し、分析用のデータマートを生成。

効果

- データ分析が容易に
  データマートに抽出された分析用データを容易にBIツールで分析できるようになった。
- 開発コストの削減
  従前1−2日間を要していた連携処理を30分でスピード開発可能に。
- メンテナンス性の向上
  ASTERIAでシステム全体が可視化できるようになり、メンテナンス性、可用性が向上。

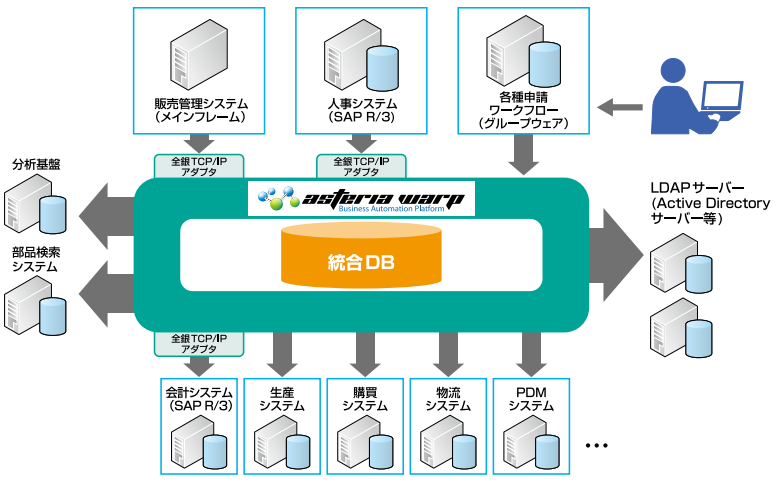
ASTERIA WARP選定理由

- 他のEAI製品に較べ、データの流れが可視化できる
- GUIベースの使い易いフローデザイナー
- ASTERIAマスターパートナーである株式会社インテックの手厚いサポート

今後の予定

- 数十社に及ぶ関連工場への生産指示、納期連絡等の情報連携にも今後活用していく予定

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

情報システム統括室
システム開発部 開発六課 主事
飯野 達也 様

比較検討したEAI製品は、処理フロー型でしたので、特定のデータがどの処理を流れるのかがわかりにくかったのですが、ASTERIAはデータフロー型ですので、フローを見るとデータ毎にどのような処理がされるのか一目瞭然でわかります。

情報システム統括室
システム開発部 開発六課
中田 誠二 様

開発経験が浅い私でも、直感的な操作で容易に開発できるので便利です。パートナーが作成したテンプレートを利用してはいますが、自力で開発、デバッグをすぐに行えるようになりました。

連携先	Amazon Aurora	利用シーン	ECサイト連携/SOA	業種	卸売業、小売業

クラウドへの全面移行により高パフォーマンス連携システムを実現

Amazon Aurora採用により最新顧客行動情報での分析も可能に

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン

東京都品川区東五反田2-10-2　東五反田スクエア8階
URL：http://www.golfdigest.co.jp/
従業員数　連結497名（2016年12月31日現在）

導入背景

ゴルフ用品のEコマース、ゴルフレッスン、ゴルフ場予約など様々なゴルフ関連事業を展開する株式会社ゴルフダイジェスト・オンラインでは、7年前に導入したASTERIA WARPをEコマースサイトからバックエンドシステムまで社内主要システムを疎結合で連携するデータ連携基盤として利用している。ASTERIA WARP処理件数は現在では1日平均400万件以上に及ぶ。この度、これらのシステムが稼動する300台に及ぶオンプレミスサーバーのEOSLに伴い、全サーバーのクラウド上への移行が検討された。

課題

- 300台に及ぶオンプレミスサーバーの監視、トラブル対応業務が負担に。
- ビジネス状況が常に変化する中、サーバーのサイジングに苦心。
- ゴルフレッスン事業の伸長に伴い、お客様の受講履歴、購買履歴などを管理するMySQL上の顧客DBの処理能力が限界に。1か月分の顧客行動履歴生成と転送に2時間かかった。

導入

- 9ヶ月間かけて全サーバーのパブリッククラウドへの移行を完了。ASTERIA WARP及びほぼ全ての連携システムをAWS上で稼動開始。
- ゴルフレッスン顧客DBをMySQLからAmazon Auroraに置き換えることで、処理性能が向上し、日次バッチ処理で大量の顧客行動トラッキングレコードの生成が可能に。

効果

- ASTERIAで連携先を一元管理していたため通常数時間はかかるDNSサーバー（10台）の移行時の切り替えを10分間で完了。
- Amazon Auroraがオートスケールすることで急なトラフィック増でも閾値を超えることがなくなり運用上の負担を軽減。
- Amazon Auroraに移行したことにより、大幅にパフォーマンスが改善。最新顧客行動トラッキング情報に基づくマーケティング活動が可能に。

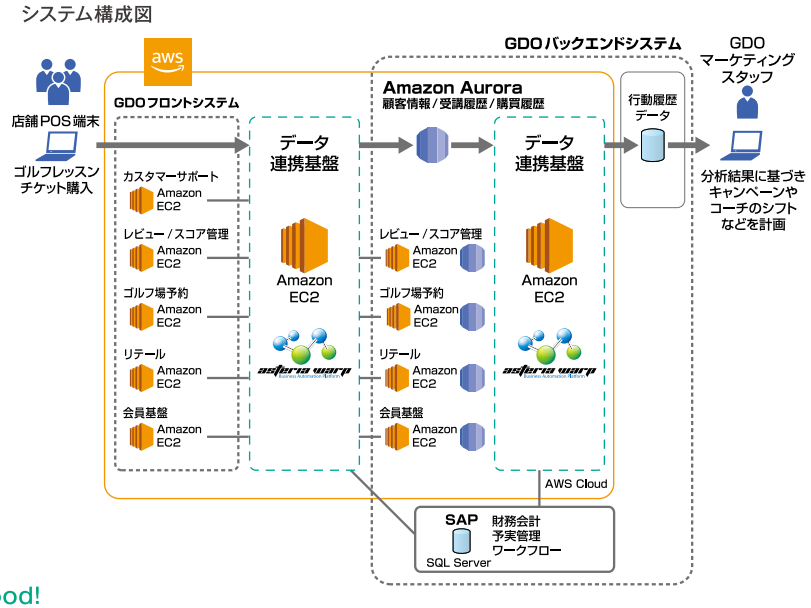
ASTERIA WARP選定理由

- 各社EAI製品を比較する際にデモで実際の動作を見せてもらったところ、何が起きているかが最もわかりやすかったのはASTERIA WARPだった。
- HTMLで書き出される仕様書。

今後の予定

- ASTERIAを含む全てのログ検索性を高めるため、今後はS3に保存したログをAthenaで解析予定。
- 今後サーバー数を減らすなど最適化を図り、クラウド移行のメリットをさらに享受。

システム構成図



お客様から一言　ASTERIA WARPのココがGood!

経営戦略本部 インフラマネジメント室
シニアプロジェクトマネージャー
清水 正朗 様

いち早くAmazonの最新技術を採用しそのメリットを享受しようとしているGDOにとって、ASTERIAが連携基盤であることは優位性があります。
ASTERIAを採用していることで、MySQLからAuroraへの切り替えもJDBC接続情報を書き換えるだけで簡単に行えましたし、AWSへの本番切替え時の10台のDNSの切り替えも10分間で完了しました。

連携先	kintone/Sansan	利用シーン	クラウド連携/業務自動化	業種	情報通信業

SAKURA internet

変動する契約状況を可視化し、迅速かつ高度な営業対応を可能に！

さくらインターネット株式会社
大阪市中央区南本町1丁目8番14号
URL：https://www.sakura.ad.jp/
従業員数　連結339名（2016年3月末）

導入背景

さくらインターネットでは、営業活動で利用するデータはさまざまなデータベースに分散していた。基幹システムで契約ユーザーの顧客情報や売上情報などを管理する傍ら、営業折衝中の顧客についての情報を「kintone」で、営業活動や展示会への出展で得られた名刺情報を「Sansan」で管理している。

課題

- 散在するデータの抽出加工に手間
  基幹システムの情報抽出は情報システム部門に依頼。Accessでの加工処理にも時間を要し、半日以上かけて週次営業レポートを作成。
- 営業の情報取得の手間
  kintone上の案件管理DBを参照しても過去の契約情報が取得できない。

導入

- 営業別週次・月次売上集計を完全自動化。
- kintoneに基幹システム上の契約情報や売上データを取り込み、案件情報とその顧客の契約情報を同一画面で見れるように。
- 各サービスデータベースからASTERIA WARPで抽出・集計した情報を使い、営業部門のフロアに契約状況の変化をデジタルサイネージで随時表示。

効果

- 導入直後3ヶ月間に構築したフローだけで、年間190万円に及ぶ営業コストを削減。
- kintone上の案件管理DBが、今後の営業アクションを考えるために必要な情報を一目で入手できるツールへと進化。
- デジタルサイネージで変更内容がリアルタイムにわかることで、フォローの架電を行うなど営業が素早く動けるように。

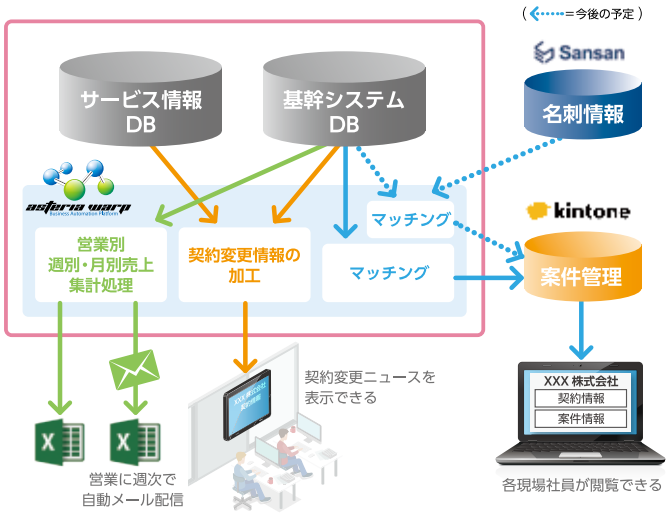
ASTERIA WARP選定理由

- 以前より検討していたEAI製品では社内のPostgreSQLに接続する際に情報が簡単に抽出出来ないという現象が発生していた。
- 当初検討したEAI製品よりASTERIA WARPの方がわかりやすい。

今後の予定

- ASTERIA WARP Sansanアダプタを利用予定
  Sansan上の最新名刺データと基幹システムの顧客データを突き合わせ、契約顧客と同一企業内別部署の名刺情報を束ね、既存顧客のご利用部署拡大の提案などに利用。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

セールスマーケティング本部
営業企画室　室長
中川 幸造 様

ASTERIA WARP導入後、最初の3ヶ月は業務自動化のためのフローをつくりました。これにより年間190万円に相当する業務コストの削減ができました。2016年に入ってからは、営業活動に必要な各種情報を連携し、一目でわかる形で営業に届けることで迅速かつ高度な営業対応を実現する取り組みを進めています。

連携先	利用シーン	業種
Amazon Aurora/ Oracle Exadata	ETL、内製化、マイグレーション	サービス業

ASTERIA、Amazon Aurora採用で中古車情報Web掲載の高速化、スケーラビリティーの向上を実現

株式会社プロトコーポレーション

愛知県名古屋市中区葵1-23-14 プロト葵ビル
URL：http://www.proto-g.co.jp/
従業員数　825名（2017年4月1日現在）

導入背景

株式会社プロトコーポレーションは、自動車関連・生活関連の情報を提供する情報サービス企業。クライアントである中古車販売店が中古車物件情報を登録すると、その情報が業界屈指のクルマ・ポータルサイト「グーネット」で掲載され、ユーザに告知される。しかし、これらのシステムはスクラッチ開発、その後改修を繰り返しながら利用しているため、属人化、複雑化が深刻化していた。また中古車販売店から「グーネット」への即時掲載要求が高まる中、データ加工、登録、反映に時間がかかりピーク時には掲載までの時間が延びるなどサービスレベルにムラが生じていた。

課題

- 物件登録が夕刻に集中。ピーク時にはDB書き込み待ちが発生し、中古車情報Webサイトへの反映に遅れが発生。
- 自動車機能の進化に伴い現状の登録項目が今後3年間で倍となる見込み。これによりさらなるアクセス負荷の予測。
- Web検索項目が急増する中、Web検索スピード向上が不可欠。

導入

- スクラッチで開発していたデータ変換、クレンジング処理をASTERIA WARPで新たに開発した200フローに置き換え。
- Amazon AuroraへのDB移行計画を見据え、ASTERIA WARPによる新システムを全てAWS上に構築。AWS上で一括運用。
- ASTERIAを利用しPostgreSQLからAmazon Auroraにデータ移行。

効果

- ASTERIA WARPの並列処理機能により8スレッド同時書き込みを行うことで性能を高め5分おきの確実な差分更新を実現。
- 項目追加に伴う開発期間を1/5以下に短縮。
- ASTERIAを利用することで開発経験のない運用オペレータでも開発/メンテナンスが可能となり、開発担当者と運用担当者が連携して協力するDevOpsを実現。
- 100%内製化を実現。200フローをオペレーターを含む3名で6ヶ月以内に開発。

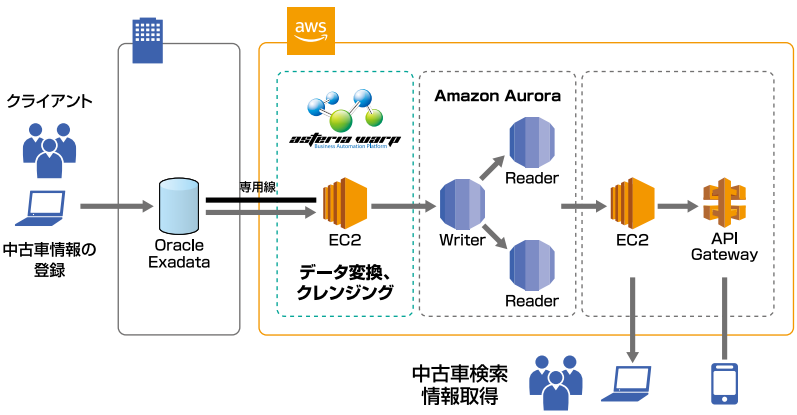
ASTERIA WARP選定理由

- ETL製品4製品のベンチマークテストで他製品に較べ8倍の高パフォーマンス。
- 並列処理機能による、さらなるパフォーマンス向上の実現。
- ASTERIAマスターパートナーであるパナソニック インフォメーションシステムズ株式会社のサポートの満足度。

今後の予定

- Amazon AuroraとASTERIAを利用し、さらなる高パフォーマンス、低コスト運用、高拡張性のシステムを実現。
- ASTERIA WARPとAmazon Auroraを利用した同様の仕組みを社内全事業に横展開。
- 社内に散在するDBをデータ統合。その際のデータ移行ツールとしてもASTERIA WARPを利用予定。

システム構成図



お客様から一言　ASTERIA WARPのココがGood!

ITソリューション1部 主任
張 博 様

ASTERIA WARPは操作性がよく開発経験のないオペレーター職の方でもフロー作成ができます。またSQL文を直接書き込むこともできるため、DBAなどの専門職にも煩わしさを感じさせないツールです。ASTERIA WARPとAmazon Auroraの採用により監視業務や障害対応の負荷削減が実現できますので、浮いたオペレータ工数を開発にシフトさせるなど、DevOps（デブ・オプス）を促進し、新規開発にうまく人員シフトできるようにしていきたいと考えています。

連携先	MotionBoard/Dr.Sum/オープンデータ	利用シーン	ETL/内製化	業種	サービス業

マーケティング調査の高度な統計処理を短期間で実装

株式会社アンテリオ

東京都千代田区神田練塀町3番地インテージ秋葉原ビル
URL：http://www.anterio.co.jp/
従業員数　130名（2015年5月現在）

導入背景

医療現場で使われる医療用医薬品、市販の一般用医薬品をはじめ、ヘルスケア領域の多様な製品・サービスを対象としたマーケティングリサーチ事業を行うアンテリオ。同社は、全国の医師を対象にアンケートを実施。依頼に応じた切り口の調査レポートを作成し、製薬企業各社に提供するサービスを展開している。中でも「Impact Track」は、医療用医薬品のプロモーション効果測定に特化した調査サービス。「製品をどこで知り」「MR（医療情報担当者）がどんな説明を行い」「説明内容はどうだったか」などに関する情報を医師から収集・分析し、週次で顧客に提供する。

課題

- Impact Trackのサービスを高度化するには、回答項目を随時見直し、時流に合った調査を行うことが欠かせないが、外部SIerに委託しスクラッチ開発したシステムは、質問を1つ追加するだけで1年近くかかる状況。
- サービス高度化には、自社で改変できるしくみが必要。

導入

- 自社で扱える「使い易さ」を重視し、集計・分析に「Dr.Sum EA」、BIダッシュボードに「MotionBoard」、ETLツールに「ASTERIA WARP」を導入。
- 約4,000名の医師がWebブラウザのフォームから回答したデータを、ASTERIA WARPが取得しCSV形式に変換、クレンジング、統計処理、データ加工後、Dr.Sumに引き渡す。

効果

- Impact Trackが扱うデータ量は、1回のバッチ処理につき約2万レコード。その処理開始からレポート出力までの時間を、以前の1/2程度に短縮。
- 100以上のデータクレンジング処理をすべて自社で開発し運用。内製化に成功。

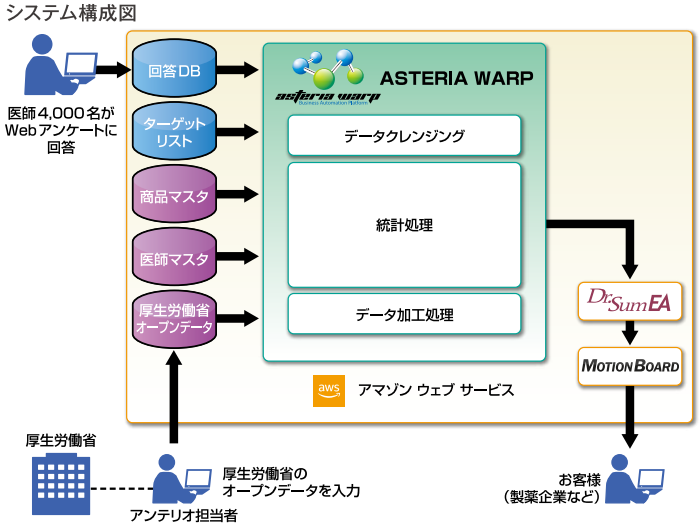
ASTERIA WARP選定理由

回答データは、クレンジング、マスタデータとの関連付けや統計処理、体裁の加工を行うが、これらの処理は、分析目的に応じて柔軟に変えていく必要があるため、設定変更が容易なETLツールを使うのがよいと判断し、ASTERIA WARPを採用。

今後の予定

「Impact Track」以外のサービスにも順次ASTERIA WARPを活用していく予定。

システム構成図



お客様から一言　ASTERIA WARPのココがGood!

今回の仕組みを適用することで、現在集計を進めている別の調査結果を1カ月前倒しして提供できないか調整中です。ASTERIA WARPの扱いやすさとパフォーマンスがあれば、実現可能だと考えています。

ファーマ・ソリューション事業部
ソリューション開発部長
佐藤 暢章 様

連携先	–	利用シーン	高速開発ツール/内製化	業種	卸・小売業

社内開発をASTERIA WARPで標準化 開発工数を約60%削減し、社内開発がスピードアップ！

ブックオフコーポレーション株式会社

神奈川県相模原市南区古淵2-14-20
URL：http://www.bookoff.co.jp/
従業員数　単体947名、連結1,156名（2016年9月1日現在）

導入背景

ブックオフコーポレーションは、古書の買い取り、販売で有名なBOOKOFFを全国に展開している。古書、音楽ソフトのリユースから始まり、現在は総合リユースブランドにまで成長した同社の新規ビジネス展開スピードは速い。新事業に必要なITシステムをすべてアウトソース開発するのではなく、中小規模のものは社内開発することで、ビジネス展開スピードを支えてきた。

課題

●対応スピードを優先していたため、担当するメンバーが得意な手法、プログラム言語によって対応を続けてきた。その結果、開発やその後のメンテナンスが属人化してしまうことや、ドキュメント作成の負荷が大きいことなど、いくつかの課題を抱えるようになった。

導入

●ASTERIA WARPを開発ツールとして導入。開発スキルの共有と工数削減、ドキュメント整備のスピード化を実現。

●グループ全員、ASTERIA WARPによる開発が可能に。

効果

●開発工数は従来手法に比べて約60%ほど削減。

●小規模なシステムでは仕様書作成時間はほぼゼロにまで短縮され、大規模なシステムの場合でも作業時間を7割程度にまで圧縮。

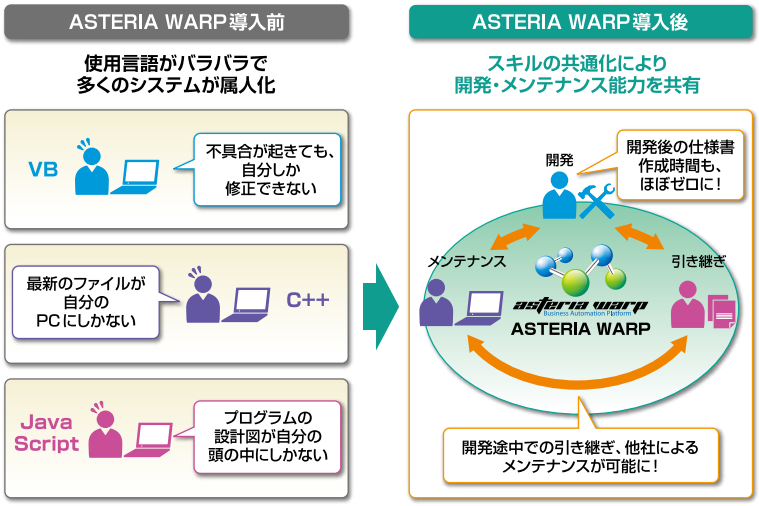
ASTERIA WARP選定理由

●Excel連携機能が、競合製品に比べてはるかに充実していること。
●連携可能なプロトコルが多いこと。
●GUIの開発環境が視覚的でわかりやすいこと。

今後の予定

ツールの存在が知れることで今後、さらに開発依頼が増えることが予想される。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

IT統括部長
成田 昌義 様

会計システムと勤怠システムとの連携のためにプログラミング言語を用いて開発した場合の見積もりが、ASTERIA WARPの導入コストとほぼ同額でした。そのコストを削減できただけでも、ASTERIA WARPは既に投資以上の効果を挙げています。

連携先	OutSystems/ DWH/オープンデータ	利用シーン	100%内製化/ データ連携基盤	業種	農業、林業

サカタのタネ
PASSION in Seed

ASTERIA WARPとOutSystemsの導入により100%内製化を実現

利便性、迅速性を向上しながらもコストは大幅削減！

株式会社 サカタのタネ
神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1
URL：http://www.sakataseed.co.jp/

導入背景

サカタのタネは一世紀に渡り、サカタブランドの品種改良を続けているタネのリーディングカンパニー。またそれ以外にも苗や園芸用品、農業用資材なども取り扱っている。同社では、これらの販売情報や仕入れ情報、その他各種実績などを保持する基幹システムと、各部門に散在するファイルとの連携のために、Peer-to-Peerのファイル転送ツールをそれぞれのシステムに導入し利用してきた。しかし、新たな連携ニーズが多数あり、一つ一つファイル転送ツールによる連携を行っていくと複雑化し管理しきれなくなることや製品/保守/SIのコストが増加し続けることを鑑み、ファイル転送ツールをEAIツールにリプレースし、連携開発の完全内製化を図ることとした。

課題

- 複雑化：連携処理にファイル転送ツール、FTP、Accessなどが個別利用され複雑化。
- 高コスト：ファイル転送ツールによる連携処理にはプログラミングが伴い、都度SIerに構築を依頼。また利用しているファイル転送ツールが連携個数に応じた課金体系のため連携処理が増えるとコストが膨大化。
- 情報共有の遅延：Excel、Access上で参照する実績データの参照方法が複雑。また月次更新のため営業現場で正確な売上実績のタイムリーな進捗確認ができない。

導入

- フロント側の開発ツールにOutSystemsを導入。またバックエンドシステムとOutSystemsとの連携基盤としてASTERIA WARPを導入。
- 社員2名が各1週間でASTERIA WARPを習得。社内内製化体制を構築。
- 売上実績データをOutSystems参照用DBに日次で反映。OutSystemsで開発されたWeb画面より、前日までの売上実績の確認を可能に。

効果

- ASTERIA WARPを連携基盤とすることで連携管理が一元化されシンプルに。連携先変更のアジリティー（迅速性）を確保。
- ASTERIA WARP、OutSystemsの開発生産性の高さにより、100%内製化を実現。
- 営業は従前のようなExcelやAccess上での結合処理、リンク設定などをすることなく、日次アップデートされた実績をWebで即時参照可能に。

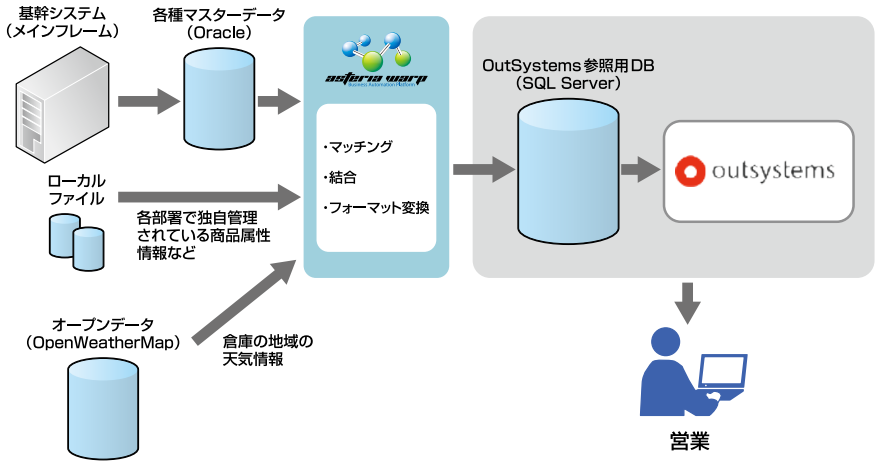
ASTERIA WARP選定理由

- 内製化を可能とする優れたGUIと操作性。
- 比較四製品の中でもっとも機能とコストのバランスが良かった。
- メンテナンス性が高く、変更のアジリティー（迅速性）の確保が可能に。

今後の予定

- ファイル転送ツールの完全リプレース。
- 連携されていない各部門のファイルも連携することで、部門を超えた情報共有を実現しビジネス活性化をシステム面から支援。
- 倉庫の地域の天気情報をオープンデータから取得し、OutSystems参照用DBに登録する連携処理も構築中。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

情報システム部
嶺澤 健一 様

「ASTERIA WARP」の活用は、単なるファイル転送ツールのリプレースにとどまらず、部門内に埋もれているデータの活用にまで進めようと考えています。部門内で保持する研究データや調査データなどを部門を超えてデータ連携することで、組織を横断した情報共有を実現し、ビジネスのさらなる活性化につなげていきます。

（注）OutSystemsは株式会社BlueMemeが販売・導入支援を行う超高速開発基盤です。

連携先	SuperStream/CSV	利用シーン	業務自動化	業種	製造業

KYOSEI®

内製化で開発期間を1/2以下に短縮 ユーザー要望に即応できる開発体制を構築

ユーザーは必要な社内データをいつでもExcel/CSV形式で入手可能に

株式会社 協成

大阪府大阪市西区千代崎3丁目1番3号
URL：http://www.kyosei.com/
従業員数　335名（2017年3月末現在）

導入背景

株式会社 協成は、ガス・水道の配管機材の製造・販売を行うメーカー。19ある営業所がそれぞれ4工場から製品を仕入れ販売を行っている。工場や営業所には基幹システムへのアクセス権を付与していないため、長年に渡り情報システム部員（5名）が依頼に応じ都度必要なデータの抽出、加工を行う個別サービスを実施してきた。この個別対応を改善するためBIツール（Dr.Sum）とデータ受け渡しのためのEAI製品を導入したが、導入したEAI製品はプログラミングスキルの高い情報システム部員1名しか使いこなすことができず、Dr.Sumにデータを受け渡す以外の用途には活用が進まなかった。

課題

- 5名の情報システム部員に社内外から多様な要望が寄せられ負担となっていた。
- システム開発を全て外注していたため、仕様の打ち合わせやテストに時間がかかりユーザー要望に即応できなかった。
- 導入したEAI製品は、個々のデータマッピングの際にスクリプトを記述しなくてはならない仕様だったため、プログラミングスキルの高い1名の社員しか使いこなせず、内製化が進まなかった。

導入

- EAI製品をASTERIA WARPにリプレース。ノンプログラミングで容易に開発が可能となり、初心者も含め開発3名体制を実現。
- 属人性を廃するため、Dr.Sumへのデータ受け渡し処理をASTERIAで再開発。
- これまで外注していたEDIに必要なデータ抽出処理も新規開発分よりASTERIAで実施。
- 生産管理部が収益の計算に利用する月次売上情報の取得作業をASTERIAで自動化。

効果

- 直感的な操作で開発できるようになり、高いプログラミングスキルを持たない部員でも開発が可能に。
- 内製化により開発期間を1/2以下に短縮し外注コストも削減。
- EDIに必要な特定顧客の納品データ抽出フローを1日で開発。仕様変更にも柔軟に対応し、ユーザーより高評価を得る。
- 収益の計算が即行われるためその月の収益を同月内に把握可能となった（従前は1ヶ月遅れ）。

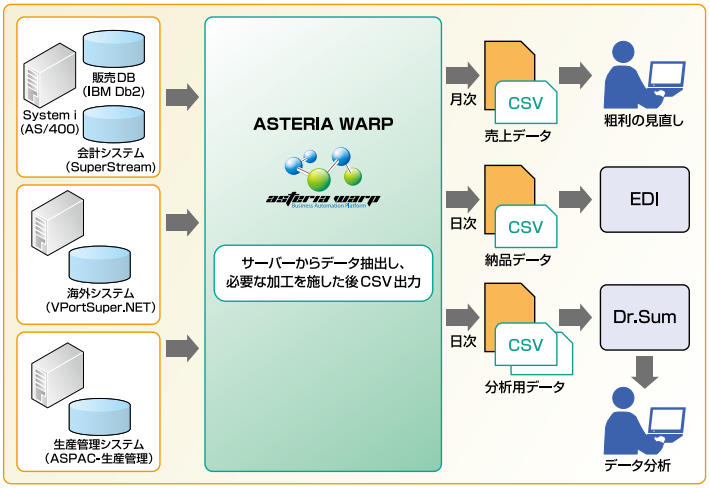
ASTERIA WARP選定理由

- EAI製品未経験の情報システム部員3名がEAI製品3製品を比較・検証したところ、全員ASTERIAが最も使いやすいと判断。
- ASTERIAはどのコンポーネントを使えば良いのか直感的に判断できるため、従前のように何を質問したら良いのかわからない状況に陥らない。
- プログラミング経験が不要のため、部内展開がし易い。

今後の予定

- 今後新たに発生するデータ連携についてはASTERIAで連携することで徐々に内製化比率を高めていく。
- 情報システム部門全員がASTERIAを活用できる開発体制に。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

管理本部 情報システム部
グループ長
小林 守 様

ASTERIAは「コンポーネント」アイコンで直感的に機能が判別できるので、初心者でも抵抗感なく利用でき、部内に侵透させ易かったです。営業や技術担当のサポートも良く、長期に渡り安心して使用できる製品だと考えます。

管理本部 情報システム部
原田 昌樹 様

ASTERIAを使うことでユーザー要望に素早く応えることができるようになりました。依頼を受けるとすぐに着手できるので依頼者には好印象のようです。

連携先	利用シーン	業種
会計システム	エージェント型連携製品リプレース/EAI	農業、林業

農業と生活（くらし）のかけはし
JA あいち 経済連

システム連携のHUBとしてASTERIA WARPを導入、エージェント型製品の個別連携からHUB型データ連携基盤を構築

JAあいち経済連

愛知県名古屋市中区錦3-3-8 JAあいちビル
URL：http://www.ja-aichi.or.jp/main/
従業員数　職員645名、雇員・パート574名（2016年4月1日現在）

導入背景

愛知県農業の発展と農家組合員のくらしの向上に貢献するJAあいち。組合員の安定した経営を支えるべく、苗や肥料の供給、営農事業支援や販売企画、農産物の直販などを行う。
JAあいちではシステムのオープン化にあたり、汎用機が担っていたデータ連携基盤をシステム同士の個別連携へと移行。しかしエージェント型連携製品のライセンス費用やバージョン管理等に課題があり、新たにHUB型のデータ連携基盤を検討。

課題

●連携システムは80程度が想定され、システム同士の個別連携では次のような課題があった。
・エージェント型連携製品のライセンス費用
・エージェント型連携製品のバージョン管理
・システム連携の統合管理
・データ連携の可視化

導入

●個別サーバーごとの連携製品ライセンスから、ASTERIAサーバーライセンスに集約。

●全80システム中60システムと会計システムとの連携を一元管理。

効果

●連携先の拡張性、データ連携の安定性。

●自社で連携構築が可能に。

●データの処理状況や負荷状況が可視化できるようになった。

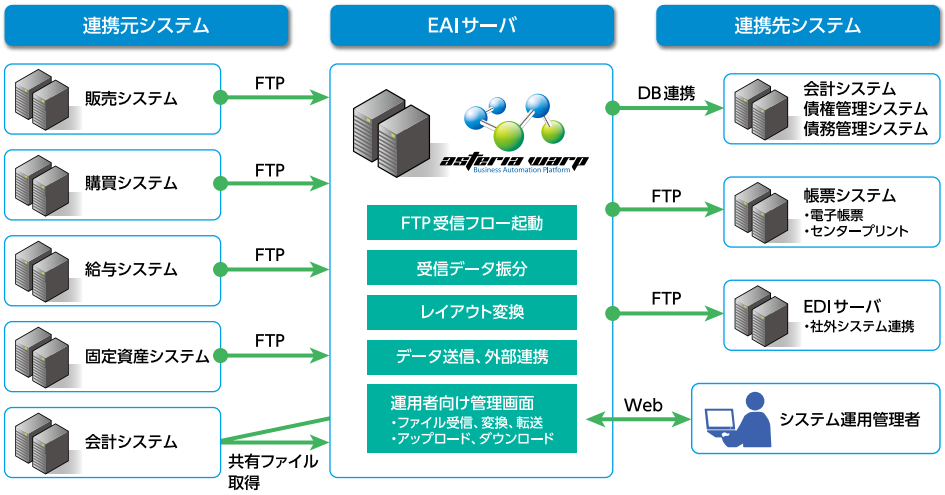
ASTERIA WARP選定理由

●1対1接続の個別連携から、HUB型のデータ連携基盤の検討が必要。
●標準化可能なオープンなツールで、特定ベンダーへの依存を排除できる。

今後の予定

●今後は内部APIとのREST連携を実現し、機能向上へ。
●さらにデータ連携ツールから、運用ツールへと発展させたい。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

経営企画部 情報システム課
岩崎 様

中部地域では、ASTERIAユーザーが少ないためか開発ベンダー数も少なく導入に不安がありました。AUG設立により、すでに異業種の方々とお話しする機会を得て安心とともに様々な発見ができています。今後は運用管理ツールとしてさらなる活用ができるよう、安定性と機能の拡充を期待しています。

連携先	System i(AS/400)	利用シーン	データ連携基盤	業種	卸売業

脱Accessで管理・開発工数を大幅に削減！

Accessの個別システムを廃止することにより
開発・メンテナンスはもちろん、管理コストを劇的に改善

株式会社中村自工

東京都中央区築地3丁目10番10号 築地ナジコビル
URL：https://www.najico.co.jp/
従業員数　168名(2016年)

導入背景

株式会社中村自工は、鉄道車両部品の販売やユニバーサルジョイント及び熱交換器の設計、販売を行う産業基盤を支える企業である。社内には基幹システムの他に生産管理システムなどが散在し、データの二重入力やデータ参照時にマッチング作業が発生していた。これらを解消するため、5年前にASTERIA WARPを導入しシステム間の相互連携を実現。さらにASTERIAを社内で活用すべく、課題の多かったお客様からの受注データのAccessを経由した登録処理もASTERIAでリプレースすることとした。

課題

- お客様に合わせた個別システムをAccess上で構築。開発およびメンテナンス工数が負担に。
- お客様の電子商取引サイトより注文書を印刷しそれを見ながら各システムの画面よりデータを手入力したり、Accessのプログラムを経由し基幹システムにODBC接続し転送する方式としたため、個別プログラムの作成やAccessバージョンアップに伴うシステム改変に工数がかかった。
- 個々のPCのAccessインストールにもコストがかかった。

導入

- AcceesシステムをASTERIAにリプレース。お客様のサイトよりダウンロードした受注データ(CSV)をASTERIAが読み込み確認用ファイルに登録。
- 確認用ファイル上で受注データ内容に誤りがないか目視で確認後、確定していくとASTERIAが基幹システムに登録。
- 上記システムを代理店にも展開。代理店が自社システムよりダウンロードした受注データも同様の方法で簡単に中村自工の基幹システムに自動登録可能に。

効果

- ASTERIAでの開発は通常のシステム開発に比べて約1/3の工数で済む上、修正も容易なため大幅に開発工数を削減。
- 個々のPCへのAccessのインストールが不要となり、またデータ破損のリスクもなくなり大幅に管理工数を削減。
- Accessバージョンアップごとの動作検証、システム改変が不要に。
- 同じ仕組みを他の取引先に展開する際のスピードが向上。

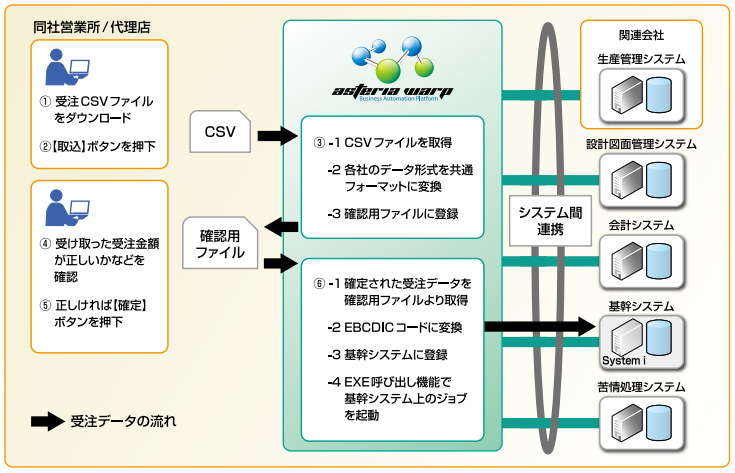
ASTERIA WARP選定理由

- データ連携の容易性。
- Accessよりも操作感が良く使いやすい。
- 処理の可読性が高く後から見てもわかりやすい。

今後の予定

- 基幹システムのエラーを関係者にメール通知する機能を拡張予定。例えば社内申請時、上長への承認依頼通知や申請者への承認完了通知の実施。
- ASTERIAで苦情処理システム、設計図面管理システムを基幹システムに統合。

システム構成図



お客様から一言　ASTERIA WARPのココがGood!

社長室情報企画課 係長
飯塚 倫子 様

Accessシステムは取引先ごとに構築しなければならず手間がかかる上、ファイルが壊れてデータ消失するリスクがありました。それに比べASTERIA WARPは一度作ったフローが使い回しできるので生産性が高く、安定稼動していますので運用も手間要らずです。文字コードの変換を自動的に行ってくれる機能やEXEファイルを起動できる機能などもとても便利で気に入っています。ASTERIAからデータを基幹システムに送信した後、基幹システム上でバッチ処理を走らせたい時などにEXE機能を活用しています。

連携先	–	利用シーン	リアルタイム連携/SOA	業種	人材派遣業

スタッフサービス グループ

個人情報マスキングサービスのAPIサーバーとしてASTERIA WARPを採用

個人情報漏洩防止のための共通APIサーバーを
高パフォーマンスなオンライン処理で実現!

株式会社 スタッフサービス・ホールディングス

東京都千代田区神田練塀町85
URL：https://www.staffservice.co.jp/

導入背景

人材総合サービスを展開するスタッフサービス・ホールディングスでは、グループ全体で100万名を超える派遣登録者等の個人情報を保有している。これらの個人情報リストを社内業務用にPCより出力・表示、転送する際にも低減化が行われ個人が特定されにくくなるよう、同社では新たに社内全31システムの見直しを開始した。低減化とは、例えばメールアドレス「yamada@sample.com」を「***@sample.com」と変換するなど、個人情報として判別しにくくなるよう情報の一部をマスクする作業。うまくマスクされないと個人が特定できてしまうため変換ミスは許されず、且つ経営からも早急な対応を求められたため個々のシステム改変ではなく低減化のための共通サービスを構築し、これを各システムからコールする方向で検討することとした。

課題

- **高性能処理要件**：共通サービスの実行速度が遅いと業務全体に悪影響を及ぼすため、高い処理性能が求められた。
- **リアルタイム処理要件**：共通サービスは、画面スクロール時、画面更新時にも都度呼び出されるためリアルタイム処理が必須となった。
- **API利用容易性要件**：アーキテクチャーの異なる社内システムのいずれからも簡単にコールできることが求められた。

導入

- **共通機能要件洗い出し**：全システムのデータフォーマットやイレギュラーデータを洗い出し、すべてのデータフォーマットに対応可能な共通サービスの機能要件をパートナーと定義。
- **高性能サービスの実現**：ASTERIA WARPでベンチマークテストを行い、パフォーマンスに問題ないことを確認。
- **共通サービスをWeb APIで公開**：多様な要件を漏れなく実装する共通サービスを構築し、Web APIで公開。

効果

- **処理性能の維持**：情報をマスクすることで性能低下が懸念されていたが、実際には処理性能がほとんど落ちなかったため、ユーザークレームは一切上がらなかった。
- **開発・メンテナンスコストを低減**：共通サービス化により開発工数、開発コストを大幅に低減し、メンテナンス性の高いシステムを実現。
- **既存システム改変を最小化**：共通APIコールにより既存システム側の改変を最小化。

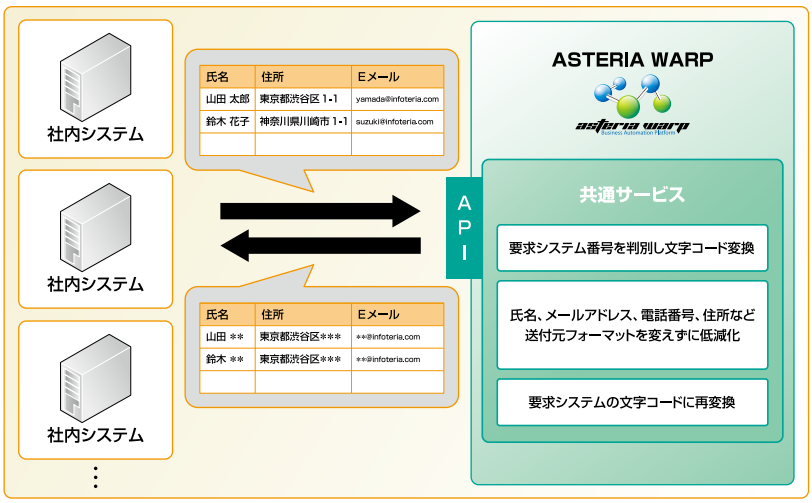
ASTERIA WARP選定理由

- オンライン処理機能がサポートされていること。
- httpsリクエストでの起動が可能。
- すべての機能要件を満たすツールの中で最もコストパフォーマンスが良かった。
- ASTERIAマスターパートナーとしてお声がけしたパナソニック インフォメーションシステムズ株式会社からの共通サービス構築に関する提案内容が思慮深かった。

今後の予定

- 今後はバッチ処理などの社内システム間連携にもASTERIA WARPを活用したい。
- トレーニング受講で得た知識を生かし内製化の推進も検討していく。

システム構成図



お客様から一言 ASTERIA WARPのココがGood!

経営管理部門 情報システム部
情報システム三課 マネージャー
谷川 明 様

「API提供」や「サービス化」に重要なのは、"様々なシステムから利用しやすいこと"、"実装したいロジックに特化できること"です。このいずれの要件もASTERIAは満たしています。
「API」「サービス」のプラットフォームとしてASTERIA WARPは最良の選択だったと感じています。

ASTERIA Warp 導入企業一覧

ASTERIA WARPは7,000社を超える企業、団体で導入されています。

アステリア株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井1-47-1 NTビル10F
TEL:03-5718-1294　https://www.asteria.com/

お問合わせ先：

このカタログに記載された情報は2018年10月現在のものです。
内容は予告なしに変更することがあります。
ASTERIAはアステリア株式会社の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。
©2018 Asteria Corporation

J00-000IB-63-04